



茨城労働局発表  
令和2年6月18日(木)

### 【照会先】

茨城労働局労働基準部健康安全課  
健康安全課長 加藤 賢一  
地方労働衛生専門官 杉山 満  
(直通電話)029(224)6215

## 職場における熱中症予防対策を要請 ～「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」を展開～

今年の夏は、気温は高く、降水量は平年並みであることが予想されており、熱中症による労働災害が多く発生することが懸念されます(資料1)。

このため、茨城労働局(局長 小奈 健男)では、職場における熱中症予防対策を徹底する必要から、「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」\*1を、5月から9月までの期間、展開しています(資料2)。

特に本キャンペーン期間中の7月は、重点取組期間としており、過去10年間の茨城県内の熱中症の発生状況を見ても7月及び8月に8割を超えています。

また、今年は、新型コロナウイルス感染症の予防のため、職場でのマスクの着用を初めとする感染防止対策が実施されています。外出機会が減ることで、暑さに身体が慣れていない人も多いことから、「新しい生活様式」における熱中症予防行動を実践し、職場での熱中症予防を徹底するとともに、万一熱中症の初期症状が現れたら速やかに対策を講じることとしてください(資料3)。

これらを労働災害防止団体、事業者団体、茨城県を含む地方公共団体等を通じ、広く県内の事業者や県民に対し実施要綱に基づく熱中症予防対策の徹底を要請し、職場における熱中症予防対策を推進していきます。

\*1 「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」では、①暑さ指数(WBGT値)\*2の把握と低減対策、休憩場所の整備による作業環境管理、②作業時間の短縮や水分、塩分の摂取による作業管理、③健康診断や日常的な健康状態を把握することによる健康管理、④異常時、緊急時の救急措置等の取組を重点としています。

\*2 暑さ指数(WBGT値)とは、暑熱環境による熱ストレスの評価を行う暑さ指数で、乾球温度・自然湿球温度・黒球温度から算出する数値のことです。

別添資料1	職場における熱中症の最近の発生状況(茨城県内)
資料2	「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」リーフレット
資料3	令和2年度の熱中症予防行動